



JQA-2631 (合板樹脂塗料)
JQA-EM3548 (本社工場)



MIZUTANI
NANOTECHNOLOGY

100年後の自然を守る、

1 1,000,000mmのテクノロジー

1nm（ナノメートル）＝100万分の1mm（ミリメートル）。

そんなほんの小さな世界の技術の進歩が、この地球の自然を守るのです。

塗料の世界にもこの技術を取り入れた画期的な製品が生まれました。

水系壁用塗料「ナノコンポジットW」・・・

それは、地球にやさしい、自然にやさしい塗料を目指してきた結果でした。

水谷ペイントはこれからも、自社の製品を通して地球環境の保全に貢献する、

そんな想いで、活動していきたいと思います。



nano

ナノテクノロジー 小さな世界を制御する技術

水谷ペイントならではの特色は
業界でも屈指の自社重合技術です。
塗料性能の大部分を占める「樹脂」※の
合成から塗料化までを一貫生産することで
その用途に特化させた
高品質な塗料を提供いたします。

※樹脂ってなに？

樹脂とは乾くと固まる成分で
この樹脂によって塗料の性能は
決定されます。水系塗料の樹脂は
エマルションとも呼ばれます。

自社の重合技術



シリカ内包型アクリルシリコン樹脂
エマルション塗料



composite W

ナノコンポジットW出荷実績 約60,000戸

ナノコンポジットWは2004年に発売し、
商業施設、店舗、飲食店、マンションや戸建住宅など
様々な物件に使っていただいております。
2004年から2016年までの出荷量を戸建住宅塗装で
換算すると約60,000戸に相当します。

ナノコンポジットW
nano composite W

1
1,000,000mmの工

超低汚染
でキレイが
長持ち!

3分艶
落ち着いた
仕上がり!

優れた
耐候性
を実現!

商業施設

飲食店・店舗



一般的な戸建住宅に換算すると
約60,000戸に相当





Nations Unies

Conférence sur les Changements Climatiques

COP21/CMP11

Paris France



地球温暖化問題について

地球温暖化問題は、地球規模で我々が取り組むべき重要課題の1つです。

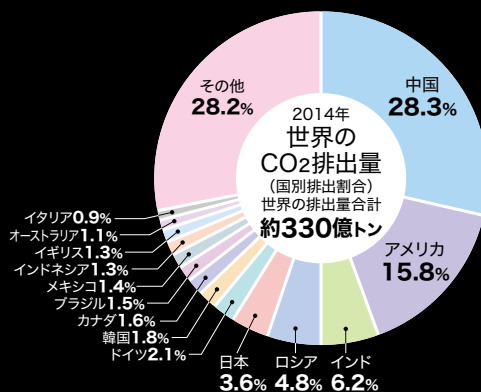
動き出した地球規模での取り組み

地球温暖化は、海面水位上昇に伴う領土の水没や、異常気象（豪雨、干ばつ等）の増加、生態系への影響・種の絶滅の危機、熱帯性感染症の増加などにつながる深刻な問題とされています。

地球温暖化への取り組みは、1997年に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）で京都議定書が制定され、先進国の温室効果ガス削減の数値目標を各国毎に設定し開始しました。しかし、CO₂（二酸化炭素：地球温暖化の原因である温室効果ガスの代表とされている）の排出量が多いアメリカ、中国、インドが参加していないため新しい枠組みが必要な状況でした。（右図）

そして、2015年11月30日から12月13日にフランス・パリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）により、ついに「京都議定書」から「パリ協定」へと移り、具体的な取組みが再始動しました。

各国のCO₂排出量



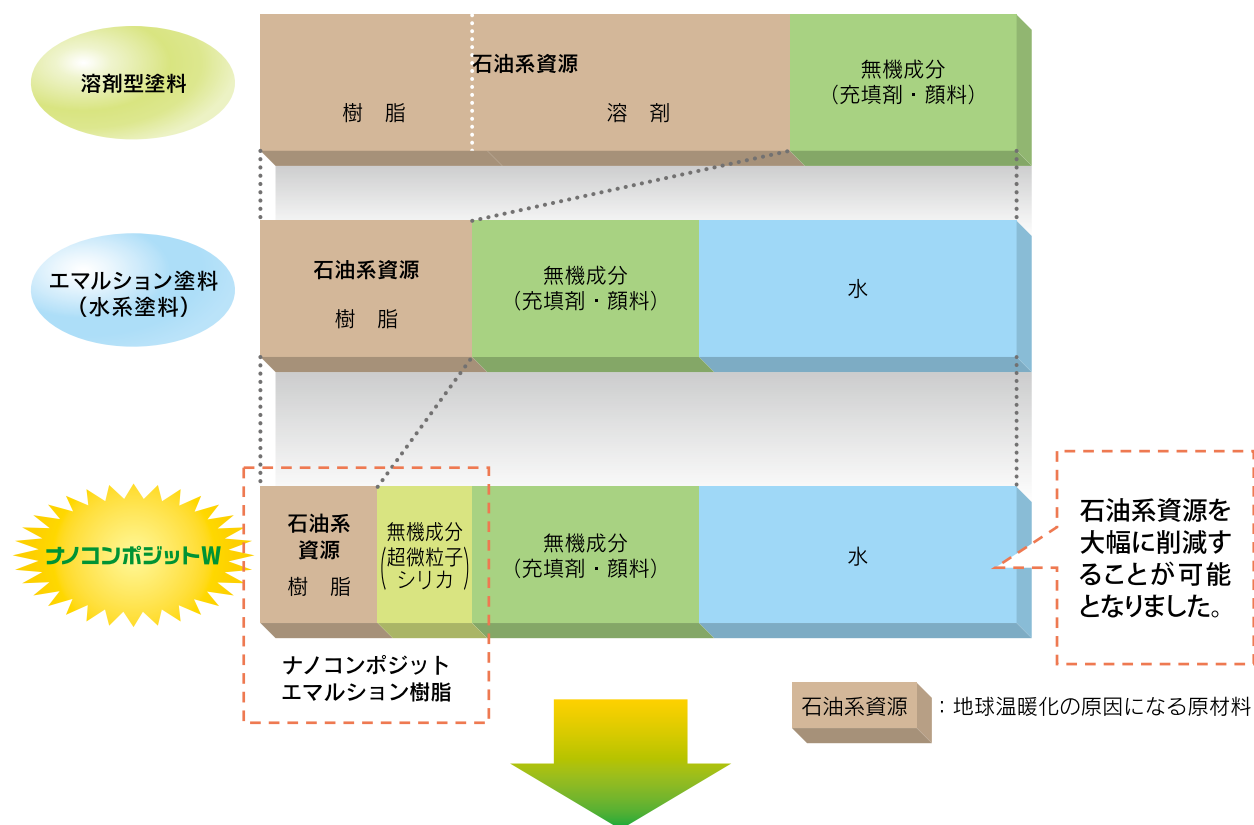
出典)EDMC/エネルギー・経済統計要覧2017年版



ナノコンポジットWは 地球温暖化対策壁用塗料です。

樹脂は塗料にとって必要不可欠な原材料ですが、その原料（モノマー）を製造する原油精製という工程や焼却によって廃棄する工程において、**多量のCO₂（温室効果ガス）を発生させます。**ナノコンポジットWはこの樹脂の量を大幅に低減させた **ナノコンポジットエマルジョン樹脂** を使用する事により、地球温暖化対策を可能にしました。

塗料の内容物比較



石油系資源の使用量を大幅に削減する事により
地球温暖化対策が可能になりました。

塗料が変わる、世界が変わる
超微粒子の世界、ナノテクノロジー。

technology nano composite W

100nm

ナノコンポジットエマルション樹脂 電子顕微鏡写真

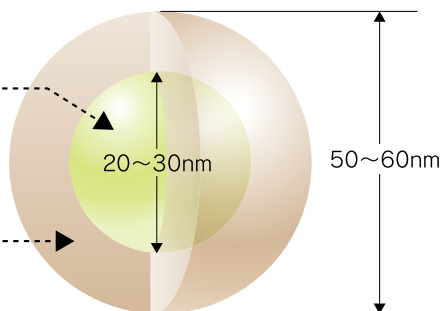
ナノテクノロジーが 環境対応と機能性を両立させました。



ナノコンポジットエマルション樹脂

超低汚染親水性シリカ
(超微粒子シリカ)

UVA・HALS ハイブリッド型
アクリルシリコン樹脂



ナノコンポジットエマルションは
20~30nmの超低汚染親水性シリカの
周りをUVA・HALSハイブリッド型
アクリルシリコン樹脂で覆った
非常に小さなエマルション樹脂です。

（UVA・HALSハイブリッド型アクリルシリコン樹脂は
耐候性に優れたアクリルシリコン樹脂骨格中に
光劣化の要因とされるラジカルを補足する
HALS(ハルス)と、紫外線吸収剤であるUVA
を組み込むことで通常のシリコン樹脂より
耐候性を向上させています。）

粒子の大きさ比較

ナノコンポジット
エマルション樹脂

50~60nm

従来型
エマルション樹脂

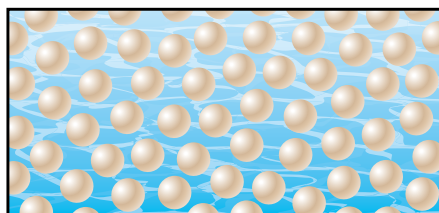
400~500nm

無機成分
(充填剤・顔料)

800~1000nm

樹脂の造膜機構

従来型エマルション樹脂



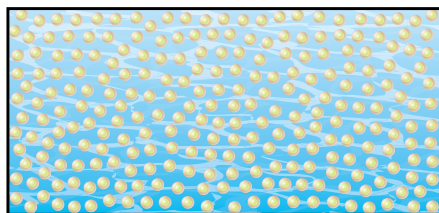
乾燥



エマルション樹脂

ナノコンポジット
エマルション樹脂

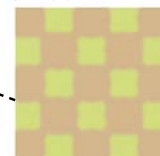
ナノコンポジットエマルション樹脂



乾燥



拡大図



塗膜中に超微粒子シリカをナノレベルで緻密かつ均一に分散させる事により、
無機質塗料に限りなく近い水系壁用塗料が完成しました。

ナノコンポジットW

ナノコンポジットW はナノテクノロジーより生まれた無機質塗料に限りなく近い塗料です。

6つの機能

超低汚染性

難燃性

耐候性

一液常温
架橋による
強靱な塗膜

速乾性

防カビ
防藻性

超低汚染性 キレイが長持ち

ナノコンポジットW は
セルフクリーニング機能により
汚れの付着を防ぎます。

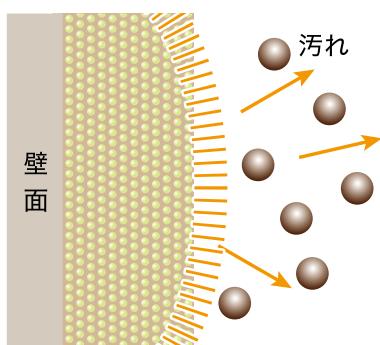


塗装前

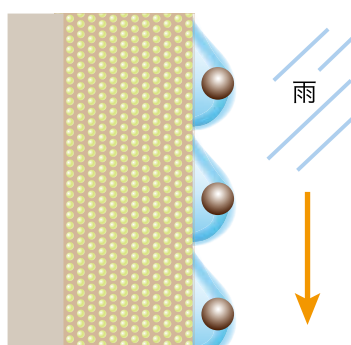


塗装後5年経過

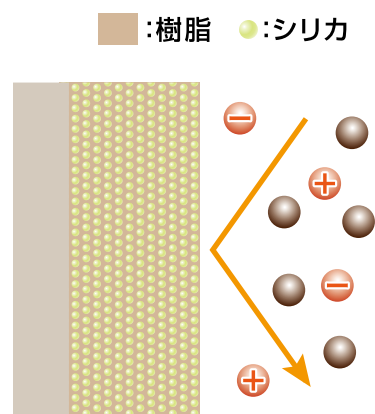
セルフクリーニング 機能のメカニズム



緻密に分散したシリカ粒子が
汚れの侵入をブロック！



親水性の塗膜が
降雨により汚れを洗い流す！



シリカ粒子が静電気の
帯電を防ぎ汚れの付着を防止！



ナノコンポジットW
nano composite W

シリカ内包型アクリルシリコン樹脂
エマルジョン塗料



MIZUTANI
NANOTECHNOLOGY

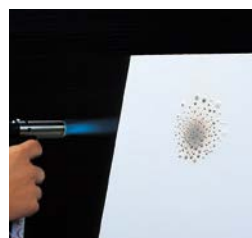
防火認定材料

ナノコンポジットWの塗膜は
燃えにくく、防火認定材料として
認定されています。

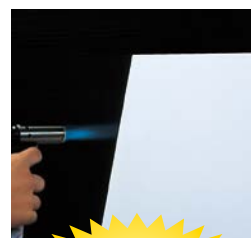
NM-8585/不燃材料 QM-9816/準不燃材料 RM-9364/難燃材料



溶剤型塗料



エマルジョン塗料



ナノコンポジットW

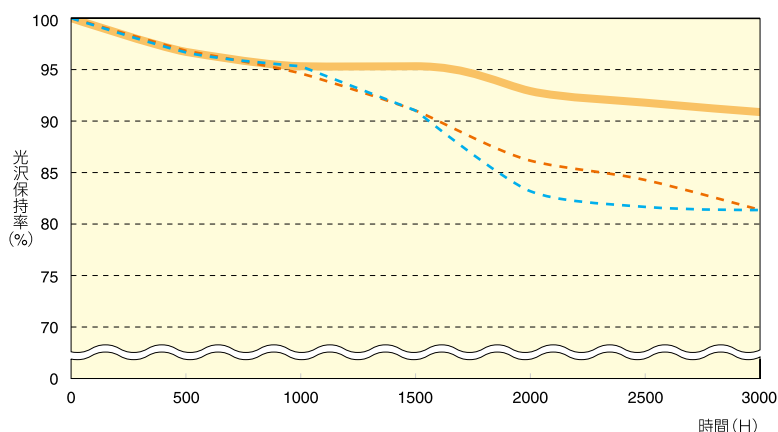
耐候性



当社独自のリアルシリコンテク
ロジーにより、優れた耐候性を有
します。



西表島暴露試験場



ナノコンポジットW

(サンシャインウエザーメーター)

低汚染塗料A

低汚染塗料B

一液常温架橋による強靱な塗膜

ナノテクノロジーによる全く新しい架橋システムです。

速乾性

無機成分が均一かつ緻密に分散され
ていますので、従来の水系塗料では不
可能であった速乾性を実現しました。

防カビ・防藻性

長時間にわたりカビを寄せ付けません。もち
ろん藻に対しても優れた効果を発揮します。

標準塗装仕様 塗替え塗装

1) 複層仕上塗材、薄付け仕上塗材の塗替え

●旧塗膜の劣化が軽度な場合

工程	使用塗料	調合割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下地調整材	ナノコンボジット フィラーN 16kg	0.2~0.7 (清水)	砂骨ローラー	1	0.8~1.2	13~20	—	16h以上	—
		0.5~1.0 (清水)	中毛ウルローラー		0.3~0.5	32~53			
上塗り	ナノコンボジットW 15kg	0.6~1.2 (清水)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.18	42~63	2h以上	—	24h以上

●旧塗膜の劣化が著しい場合

工程	使用塗料	調合割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンボジット シーラーⅡ 15kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
下地調整材	ナノコンボジット フィラーN 16kg	0.2~0.7 (清水)	砂骨ローラー	1	0.8~1.2	13~20	—	16h以上	—
		0.5~1.0 (清水)	中毛ウルローラー		0.3~0.5	32~53			
上塗り	ナノコンボジットW 15kg	0.6~1.2 (清水)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.18	42~63	2h以上	—	24h以上

●旧塗膜の劣化が軽度な場合(パターンを変えない場合)

工程	使用塗料	調合割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンボジット シーラーⅡ 15kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
上塗り	ナノコンボジットW 15kg	0.6~1.2 (清水)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.18	42~63	2h以上	—	24h以上

●旧塗膜の劣化が著しい場合(パターンを変えない場合)

工程	使用塗料	調合割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	リフレッシュサフェーサーエポ 16kg	0.5~0.8 (清水)	ハケ・ローラー	1	0.2~0.5	32~80	—	3h以上	—
		0.6~1.0 (清水)	エアレス		0.3~0.5	32~53			
上塗り	ナノコンボジットW 15kg	0.6~1.2 (清水)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.18	42~63	2h以上	—	24h以上

塗装仕様上の 注意事項

※雨水が集中して流れる箇所は(躯体を保護するために)、あらかじめナノコンボジットシーラーⅡでタッチアップしてください。
 ※軒天、上裏など水廻りが予想される場所にはナノコンボジットフィラーNを塗装しないでください。
 クラック、剥離の原因となりますのでシーラー+上塗り(2回塗り)で仕上げてください。
 ※塗付量に清水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

アクリルシリコン樹脂エマルションクリヤー
天端用保護クリヤー
 (水系・艶消)
ナノコンボジットW施工面専用



ナノコンボジットWを施工した
 このような場所に塗装してください。

2) 窯業系サイディングボードの塗替え

●旧塗膜の劣化が軽度な場合

工程	使用塗料	調合割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンボジット シーラーⅡ 15kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
上塗り	ナノコンボジットW 15kg	0.6~1.2 (清水)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.18	42~63	2h以上	—	24h以上

●旧塗膜の劣化が著しい場合

工程	使用塗料	調合割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下塗り	リフレッシュサフェーサーエポ 16kg	0.5~0.8 (清水)	ハケ・ローラー	1	0.2~0.5	32~80	—	3h以上	—
		0.6~1.0 (清水)	エアレス		0.3~0.5	32~53			
上塗り	ナノコンボジットW 15kg	0.6~1.2 (清水)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.18	42~63	2h以上	—	24h以上

標準塗装仕様 新規塗装(コンクリート・モルタル面)

●さざ波模様に仕上げる場合

工程	使用塗料	調合割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイトランス、土砂、ほこり、油脂類は除去し、水分5%以下(デジタル水分計)、PH10以下に管理する。 欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	ナノコンボジット シーラーⅡ 15kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
下地調整材-1	ナノコンボジット フィラーN 16kg	0.2~0.7 (清水)	砂骨ローラー	1	0.8~1.2	13~20	—	16h以上	—
下地調整材-2	ナノコンボジット フィラーN 16kg	0.5~1.0 (清水)	中毛ウールローラー	1	0.3~0.5	32~53	—	16h以上	—
上塗り	ナノコンボジットW 15kg	0.6~1.2 (清水)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.18	42~54	2h以上	—	24h以上

※下地調整材-2は省略する場合があります。

●平滑に仕上げる場合

工程	使用塗料	調合割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイトランス、土砂、ほこり、油脂類は除去し、水分5%以下(デジタル水分計)、PH10以下に管理する。 欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	ナノコンボジット シーラーⅡ 15kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
上塗り	ナノコンボジットW 15kg	0.6~1.2 (清水)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.18	42~63	2h以上	—	24h以上

※下地のテクスチャーパターンにより、上塗り3回塗りを必要とする場合があります。
※シーラーの吸い込みが激しい場合は、再度全面にシーラーを塗装してください。
※旧塗膜が単層弾性で爪で押して弾性が残っている場合は塗装を避けてください。

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶)	塗装間隔(23℃)	
							工程内	最終養生
素地調整	天端部に施工したナノコンボジットWの塗膜を清浄な面にする。							
上塗り	ナノコンボジットW 天端用保護クリアー15kg	—	ハケ・ローラー	2	0.08~0.12	63~94	1h以上	24h以上

※天端用保護クリアーは、ナノコンボジットエマルションではありません。従って汚染性能には差が生じます。

汚れにくい機能(超低汚染性)を最大限に発揮するために

フノコンボジットWは、親水性の塗膜でセルフクリーニング機能が発揮されます。しかし、汚れが集中する部位や雨が当たらない環境下では、「汚れにくい」機能が低下したり、発揮するのに時間を要したりする場合があります。また無機質の汚れに対してはセルフクリーニング機能は期待できません。

汚れの種類

- 有機質(親油性)の汚れ

無機質(親水性)の汚れ
- 自動車排気ガスに含まれる油成分の汚れなど

錆、黄砂、エフロレッセンス、土砂などの汚れ

汚染が予想される箇所の例とその対策

鉄部(パイプ)など錆の発生が危惧される壁面

写真は塗装前です。

(現 象)
壁面に樋の取り付け金具などがある場合、その錆により汚染されます。

(対 策)
錆の発生が起らないよう、既存の錆を取り除き、適切な防錆塗料で防錆処理を行います。



シーリング材の可塑剤移行による汚染

写真は塗装前です。

(現 象)
クラックの補修やサイディングボードの継ぎ目などにシーリング材を充填します。このシーリング材の上にフノコンボジットWを直接塗装した場合、シーリング材の可塑剤が移行して塗膜表面を軟化させ汚れを付着させます。

(対 策)
まずシーリング材を確認してください。可塑剤が移行しにくいタイプがあります。詳しくは弊社営業担当にご相談ください。



カビ・藻による汚染

写真は塗装前です。

(現 象)
塗替えの場合、旧塗膜にカビ・藻が残っていて充分除去せずに塗装した場合、塗装後早い段階でカビ・藻が発生します。

(対 策)
旧塗膜にカビ・藻が残らないように高圧水洗、デッキブラシ等で充分に除去してください。次亜塩素酸ソーダにより完全に除去するとより効果的です(使用する場合は土壤汚染に気をつけてください)。



パラペット部の汚染

写真は塗装前です。

(現 象)
陸屋根(屋上)になっている建物で壁面との境目にあるパラペット部では、特に汚れが集中します。

(対 策)
建物の内側に雨水が流れるようにパラペットの形状を内側に傾斜させるか、水切りを設置します。



斜壁(セツバック)

写真は塗装前です。

(現 象)
集合住宅などの階段屋根部分が斜めの壁になっているところでは、それにつながる壁面に汚れが集中します。

(対 策)
斜壁の端部に水切りを設置し、斜壁を流れてきた汚水が壁面に流れないようにします。



・上部塗装膜の劣化したチョーキング粉が付着した場合、白筋となることがあります。

上記の他、樹木が建物に隣接している場合、雨が当たりにくくばかりでなく、葉や樹の汁や花粉などが付着したり、虫が巣を作ったり、鳥の糞尿などにより特殊な汚れが付着し除去しにくくなります。また、立地条件(環境条件)、建築物の形により汚れが集中しセルフクリーニング機能がうまく発揮しないことがあります。汚れが集中することが予想される場合は、水切りを設けるなど対策をおすすめします。

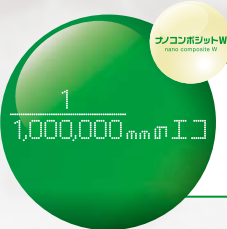
注意事項

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
3. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
4. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
5. 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
6. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がりが不良等が起こりますので注意してください。
7. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
8. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為に若干の色差が生じますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
9. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なることがあります。
10. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の加納氏がありますので、必ず養生してください。
11. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
12. 腐食したような劣化したサイディング材へ塗装すると意匠性が劣るため、塗装は避けてください。
13. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
14. 目地部に塗料がたまつた場合や、たれが発生した場合ははらり切りしてください。
15. 塗装中に塗料を解放して放置しますと上乾きする事がありますので注意してください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
16. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
17. 汚れ・傷等により補修塗料が必要な場合がありますので、仕様塗料の控えは取置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
18. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
19. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こす事がある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
20. バテを仕様する際は外部用バテを使用してください。
21. 旧塗膜が弾性塗料の場合は施工をさけてください。スキンの場合は当社営業担当までご相談ください。
22. 旧塗膜が単層弾性で爪で押して弾性が残っている場合は塗装を避けて下さい。
23. 廊下のクラック等によりエフロレッセンスが発生する場合は下塗りにリフレッシュサフェーサーエがまたは2液マイルドウォールシーラーを塗装して下さい。
24. タッチアップは耐候性を確保する為に上塗り塗料で行ってください。
25. 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものを使用してください。
26. 排水溝には捨てないでください。
27. 低温、高湿度時は乾燥が遅くなることがありますので、塗装後1〜2日は、粉じんなどの汚染物質の付着にご注意ください。
28. 塗装乾燥過程で降雨にあった場合、雨水の集中する部位に於いて、汚れが付着する事があります。適切な養生を行うなどして直接雨が当たらない様な処置をお願いします。
29. 濃色や原色に近い色は、塗膜を強くすると色落ちする場合があります。
30. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
31. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
32. 製品の安全に関する詳細内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. 出荷後出来るだけ早い時期にご使用ください。
2. 使用前には十分攪拌してください。
3. 小分けする場合は、十分覚醒して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの醜態となります。
4. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
5. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
6. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



ナノコンポジットエマルションの研究成果

ダブル受賞
第32回
井上春成賞
第57回
工業技術賞



塗料分野で
初受賞
井上春成賞

建築用塗料
で初受賞



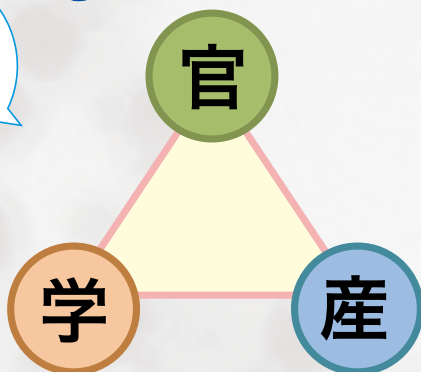
井上春成賞とは、大学・研究機関などの
独創的な研究成果を企業が開発した技
術で、わが国の科学技術・経済の発展に
寄与し、福祉の向上に貢献したものが
表彰されます。水谷ペイントはナノコン
ポジットエマルションによって、井上春
成賞を塗料分野で初受賞しました。



工業に関する研究発明(工業化に
寄与したものあるいは将来寄与し
うもの)ならびに現場技術の進
歩改善に功績のあったものに表彰
されます。

業界初
産学官連携
による開発

JST 国立研究開発法人
科学技術振興機構



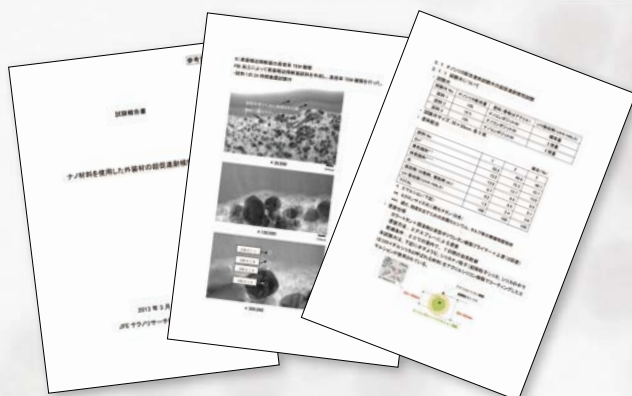
京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ミズタニ

科学技術振興機構との取り組み

- 平成10年
独創的研究成果育成事業採択
- 平成15年
研究成果最適移転事業採択
- 平成19年
特許成立 (特許第3806417号)
(特許第4046451号)

ナノコンポジットエマルション是水谷ペイント、
科学技術振興機構、京都工芸繊維大学の産学
官により共同開発されました。



経済産業省
からの報告
安全性の証明



ナノマテリアルの危険性が懸念された
ため、経済産業省がナノコンポジットW
について安全性を調査したところ、問題
がないことが証明されました。
資料が必要な場合は、お問い合わせ
ください。

当社ホームページより閲覧可能です
<http://www.polyma.co.jp/news/20140108/index.html>



MIZUTANI
NANOTECHNOLOGY

水谷ペイント株式会社

塗料相談室 ☎ **06-6391-3039**

営業時間 午前9:00~12:00 午後1:00~3:00

本 社	〒532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90
	TEL(06)6391-3151 FAX(06)6393-1101
本社営業部	TEL(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
西日本開発部	TEL(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
東京支店	TEL(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
東日本開発部	TEL(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
北関東支店	TEL(048)563-0355 FAX(048)563-5124
中部支店	TEL(0568)85-3551 FAX(0568)85-3556
広島支店	TEL(082)284-6556 FAX(082)283-0017
福岡支店	TEL(092)611-5731 FAX(092)621-2301
仙台営業所	TEL(022)782-6770 FAX(022)232-6871
札幌営業所	TEL(011)824-5711 FAX(011)824-6464
工場	本 社 ・ 埼 玉 ・ 中 部 ・ 広 島 ・ 福 岡

<http://www.polyma.co.jp>

特約店